

## 仕事はDXで効率化。生み出した余白は、市民と向き合う時間へ。

### ● これまでの取組と課題

- ✓ デジタル変革戦略室では、これまで「さかたコンポ」「書かない窓口」「オンライン申請」の導入など、利便性高くぬくもりのある窓口サービスの実現に取り組んでまいりました。
- ✓ しかしながら、オンライン申請に未対応の手続きが残っていること、および窓口受付後の内部事務処理の効率化が一部にとどまっている点が、今後の課題として残されています。

### ● 課題を踏まえた今後のデジタル変革の方向性

#### 「行かない窓口」の実現

オンライン化により、窓口業務を縮減するとともに、市民の皆様の利便性の向上を図ります。

さらなる窓口サービスの向上と、利便性の向上を目指します。

#### 「BPR※」の実施

業務改革、内部業務の効率化、省力化により、事務処理に掛かる時間の短縮を図ります。

効率化により生まれた時間を活用し、市民の皆様に寄り添った市役所を目指します。

#### デジタル変革の土台となる、「デジタル人材の育成」

「酒田市デジタル人材育成方針」を策定し、改革マインドを持ち業務改革に積極的に取り組む人材を育成します。

※BPR：ビジネス・プロセス・リエンジニアリングの頭文字。業務をプロセス（過程）から見直すことで、効率化を図る活動を指します。